

場所に制約されない、タイムラグのない
コミュニケーションを実現

ビジネスシーンでは、より迅速なお客さま対応や意思決定など、コミュニケーションに効率とスピードが求められています。こうしたニーズに応えるために開発されたのが、PBX（電話交換設備）を持たずに内外線の利用を可能にする「ICTテレフォニーソリューション」。外出時においても会社への電話が携帯電話へ自動転送されるため、場所に制約されない、タイムラグのないコミュニケーションを実現するほか、より自由度の高いワークスタイルをもたらしました。

KDDI様とともに——

新たなICTソリューションで、ワークスタイルを変革

通信キャリアとシステムインテグレーターの強みを融合したICTソリューションの提供により、従来型のコミュニケーション環境にとらわれない、さまざまな価値を企業社会へ提供していきます。

ICTインフラをワンストップで提供

現代のビジネスにICTは不可欠なものになっています。しかしそのインフラには、構築、運用・保守など高度な知識・技術やコスト・労力が必要となるため、それらを「所有」するのではなく、必要なリソースやサービスだけを「利用」するようになる流れがますます加速しています。

こうした流れのなかで、KDDI様と、日本ユニシスのグループ企業で総合ICTサポートサービスを担うユニアデックスは、KDDI様の通信キャリアとしての強み、ユニアデックスのシステムインテグレーターとしての強みを融合させ、新たなソリューションを開発する目的で、2007年4月、ICTソリューション分野での業務提携を実施。通信ネットワークからLAN、サーバなど、ICTインフラの設計・構築、運用・保守までをワンストップで提供するサービスをスタートさせました。その成果の一つが、PBXなど固定資産を「所有」せずにセキュリティの確保された

環境で電話の内外線機能を「利用」できる「ICTテレフォニーソリューション」です。これは、データセンターのサーバで外線・内線をコントロールし、固定電話への着信を、内線番号を利用して携帯電話に自動で転送することができるようにしたものです。

KDDI様とユニアデックスは、お客さまのニーズに対応した個別のソリューションとしてICTテレフォニーソリューションを提供しています。本ソリューションは、さまざまなオフィスシーンでのフレキシブルなコミュニケーションとともに、場所に縛られない「ワークスタイルの変革」を支援していきます。

KDDI株式会社様 会社概要

創業	1984年6月1日
資本金	141,851百万円
従業員数	16,967名（連結ベース）（2009年3月31日現在）
本社所在地	東京都千代田区飯田橋3丁目10番10号 ガーデンエアタワー
事業内容	電気通信事業

Designing The Future
KDDI

KDDI様
から

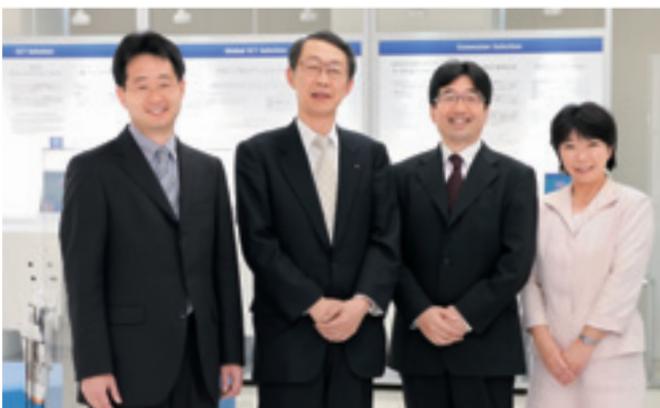
両社の強みを活かし、
よりイノベティブなサービスを



KDDI株式会社
ソリューション商品企画本部長
小林 昌宏 様

KDDI株式会社
ソリューション商品企画本部
テレフォニー商品企画部
推進グループ 課長
清水 律子 様

「ICTテレフォニーソリューション」の最大の特長は、会社へ掛かってきた電話を、営業マンなど社外にいるスタッフの携帯電話に、自由に、フレキシブルに転送できる点です。最近ではメールシステムの普及により、電話での連絡はより緊急性の高い用件であることが増えています。つまり、顧客や社内外からの電話連絡を、いつでもどこでも受けられることが重要となるのです。「ICTテレフォニーソリューション」は、こうしたニーズに大きく貢献するだけでなく、どこにいても“つながる”ため、「オフィスで仕事」という旧来的なワークスタイルにとらわれない働き方も実現できるなど、大きな意義を持つソリューションだと思っています。業務提携から丸2年。当初は企業文化やビジネスモデルが異なる2社でしたが、お互いへの理解も深まっており、今後は、両社の強みを活かした、よりイノベティブなサービスを開発できるのではないかと期待しています。



日本ユニシス
グループから

効率的で快適な
コミュニケーションの創造をめざして



ユニアデックス
常務執行役員
KDDI事業部長
萩田 勝政 様

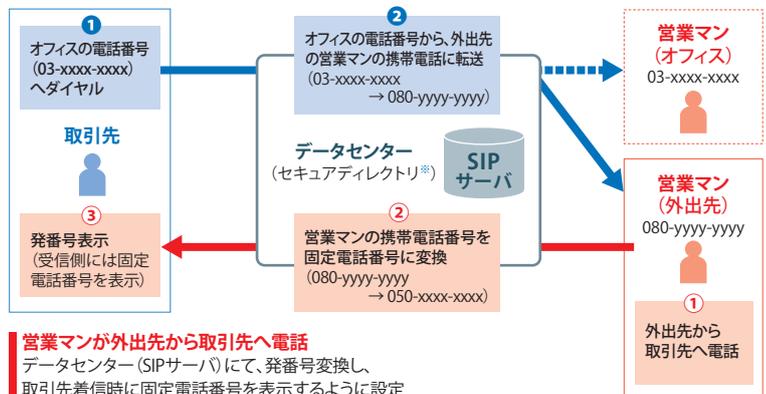
ユニアデックス
ビジネスイノベーション統括部
ソリューション推進部 部長
高橋 義直 様

「ICTテレフォニーソリューション」の開発では、データセンターにおける内外線の振り分け技術で、システムインテグレーターとしての私たちの専門性を大きく役立てることができたと思います。このソリューションでは、お客さまが望む音声コミュニケーションインフラの設計が可能になるだけでなく、それぞれの企業様に最適な電話の活用と、それにより実現される新たなワークスタイルを構築することができます。今後もKDDI様とともに、より効率的で快適なコミュニケーションの創造に向けたソリューション開発に努めたいと思います。

ICTテレフォニーソリューションの利用イメージ 例) 取引先と営業マンとの通話シーン

取引先から営業マンのオフィスへ電話

営業マンが外出時の場合は、データセンター(SIPサーバ)にて着信転送されるため、外出先でも通話可能



営業マンが外出先から取引先へ電話

データセンター(SIPサーバ)にて、発番号変換し、取引先着信時に固定電話番号を表示するように設定

※ セキュアディレクトリ: データセンターのSIPサーバに「相手先電話番号」とそれを指す「セキュアID」を1:1で紐づけるデータテーブルを作成。携帯電話のアドレス帳には「セキュアID」のみを登録することで、相手先の電話番号が残らないようにする